

二〇七四番

天あまの川がは 渡わたり瀬せごとに 思おもひつつ 来こしくも著しるし
逢あへらく思おもへば

二〇七五番

人ひとさへや 見み継つがずあらむ 彦ひこほし星しの 妻つまよ呼よぶ舟ふねの
近ちかづ付づき行ゆくを

二〇七六番

天あまの川がは 瀬せを速はやみかも ぬばたまの 夜よはふけに
つ 逢あはぬ彦ひこほし星し